

平成 30 年度

教育委員会点検・評価報告書

令和 元 年 6 月

柳津町教育委員会

目 次

はじめに

I	教育委員会の活動状況	2
II	教育委員会重点施策点検・評価一覧表	7
III	各重点施策の点検・評価	9
①	生きる力を育む学校教育の充実	10
②	郷土を愛する心を育む青少年の健全育成	33
③	生きがいを感じる生涯学習の推進	37
④	健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進	40
⑤	地域の伝統文化の継承と文化財の保存	44
IV	点検・評価に関する有識者の意見	49
1	点検・評価に関する有識者名簿	
2	点検・評価に関する有識者の意見	
《 資 料 》		
	・柳津町教育委員会の点検・評価の概要	52
	・柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の 点検評価実施要綱	53

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員

職名	氏名	備考
教育長	目黒健一郎	就任：平成24年4月1日から 退任：平成31年3月31日まで
職務代理者	鈴木礼	就任：平成28年10月1日から 任期：令和2年9月30日まで
委員	鈴木亘	就任：平成28年10月1日から 任期：令和元年9月30日まで
委員	二瓶伸博	就任：平成29年11月6日から 任期：令和3年9月30日まで
委員	天野百合子	就任：平成30年4月1日から 任期：令和4年9月30日まで

2 教育委員会の開催状況

- 定例会 12回
- 臨時会 2回

3 教育委員会での審議（協議）内容

【定例会】

月日	回数	主な審議（協議）内容
4/27	1	・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校の赤ペコプラン、授業の振り返り、校長会の事業計画と予想される主な協議内容等）について
5/30	2	・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、生涯スポーツ推進にかかる検討計画等）について ・6月定例議会に提案する補正予算について議案提出 ・総合教育会議の実施（開催月日等の確定）について協議
6/26	3	・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、6月定例議会一般質問について報告、及び7月の事業計画報告等）について ・平成29年度柳津町教育委員会点検・評価報告について議案提出 ・海洋センター業務の改善について協議
7/25	4	・教育長及業務報告（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省等）について ・平成31年度使用小学校教科用図書の採択について議案提出 ・平成30年度の教育委員会の点検・評価について議案提出 ・美術館の運営状況、海外派遣等各種事業について報告

8/29	5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、子ども議会の取組と開催、全国学力・学習状況調査結果、美術館の取組、公民館事業の取組等）について ・9月定例議会に提案する補正予算について議案提出 コミュニティースクール（将来構想）の取組と活用について協議
9/28	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、9月定例議会内容（一般質問・補正・教育委員会委員任命同意）報告、子ども議会の開催結果等）について ・柳津町教育長職務代理者の指名について議案提出
10/26	7	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、自治功労表彰候補者の確認、教育行政の上半期進捗状況、地域学校協働活動の取組と進捗状況等）について
11/28	8	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、平成31年度の重点事業と予算編成、町教育ビジョンの実現に向けた体制づくりの推進、教育換気用の整備推進（ICT環境整備・新学習指導要領への移行等）について ・12月定例議会に提案する補正予算について議案提出
12/25	9	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、12月定例議会内容（一般質問・補正等）について ・小中一貫教育・コミュニティースクールへの道筋について協議
1/28	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、平成31年度当初予算について、教職員の人事配置と課題等）について
2/27	11	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、平成31年度当初予算について、教職員の人事配置と課題等）について ・やないづ町立齋藤清美術館非常勤の館長設置条例の制定について議案提出 ・柳津町公立学校施設使用料条例の一部を改正する条例について議案提出 ・やないづ町立齋藤清美術館条例の一部を改正する条例について議案提出 ・やないづ町立齋藤清アトリエ館条例の一部を改正する条例について議案提出 ・柳津町運動公園条例の一部を改正する条例について議案提出

3/28	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、3月定例議会内容(町長施策方針・一般質問・補正・当初予算)、教職員の人事、高校入試結果等)について ・銀山煙突について協議 ・指示伝達事項>人事異動(町転入出・退職教員)該当者について 次年度の柳津町学校教育構想について 本年度の教育委員会点検評価について 本年度の教育課程実施状況について
------	-----	---

【臨時会】

月 日	回数	主 な 審 議 (協 議) 内 容
4/2	1	教育委員会委員の新たな構成に伴う委員番号の指定について
3/5	2	柳津町立学校教職員の人事異動について

4 教育委員会委員の主な活動（学校行事・研修、生涯学習関係行事等）

月	日	主 な 活 動	委員参加人数
4	4	新任教職員歓迎披露式	5
	4	柳津町・三島町学校給食センター開所式	5
	6	小中学校入学式	5
5	9	柳津町教育研究会総会	4
	11	柳津町PTA連絡協議会総会	4
	19	小学校運動会	4
	30	両沼教育委員会連絡協議会春季総会	4
6	26	総合教育会議	5
7	7	会津柳津学園中学校開講記念文化講演会	5
	12~13	東北六県教育委員会連絡協議会研修(山形市)	4
	23	県市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修	3
	24	町小学校水泳記録会	4
8	15	成人式	5
	28	県市町村教育委員会連絡協議会教育長等研修	2
10	2	町小学校陸上記録会	4
	20	会津柳津学園中学校文化祭	5
	22	両沼教育委員会連絡協議会秋季総会	4
	27	柳津小秋祭り・西山小きらきらフェスタ	5
11	5	青少年の主張発表大会	5
	18	ふくしま駅伝競走大会	3
	29	町教育研究会合同研修会	3

1	5	町民年頭賀詞交歓会	3
	10	柳津町PTA連絡協議会新年会	4
3	13	中学校卒業式	5
	22	小学校卒業式	5
	28	教職員離任式	5

5. 教育委員会活動の主な事業の情報発信

◆ 町広報誌「広報やないづ」に教育委員会主催行事等を掲載

○平成30年度「広報やないづ」

- ・4月号 ➤ 柳津中学校・西山中学校卒業式
- ・5月号 ➤ 会津柳津学園中学校開校式
- ・12月号 ➤ 会津柳津学園中学校第1回文化祭

○平成30年度「広報やないづお知らせ版」

- ・4月号 ➤ 柳津町・三島町学校給食センター開所式

◆ 「やないづ教育ねっと」に各種情報を掲載

Ⅱ 教育委員会重点施策点検・評価一覧表

II 柳津町教育委員会重点施策点検・評価一覧表

重点施策	基本事業	主な事務事業	達成度	事務担当班
生きる力を育む学校教育の充実	1 確かな学力の向上	「学力向上グランドデザイン」による学習指導 柳津町学力向上推進事業(町教研への委託) 柳津町教育研究会の活動 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施	B	学校教育班
	2 健やかな体の育成	学校保健体育、部活動の指導 食育計画の作成と指導 全国体力テストの実施	B	
	3 豊かな心の育成	道徳教育・特別活動における指導 体験的活動・ボランティア活動の重視 学校図書を整備と読書活動の推進 いじめ、問題行動等の早期発見、早期対応	A	
	4 特別支援教育の充実	校内就学指導委員会の開催 特別支援学級の整備 教育支援委員会との連携した指導	B	
	5 小中連携教育の推進	小・中学校間連携教育の推進	B	
	6 情報教育・国際理解教育の充実	学校教育用パソコン等ICT整備事業 外国青年(英語指導助手)招致事業 英語科の実施へ向けた校内体制の充実	B	
	7 教育環境・条件の整備充実	学校施設等改修整備事業 教材教具整備事業 就学援助事業 児童生徒通学費補助事業 教員住宅管理事業 スクールバス運行事業 特別支援教員等の配置 給食費補助事業	B	
郷土を愛する心を育む青少年の健全育成	1 郷土を愛する心の育成	児童生徒の地域行事への参加促進 青少年の主張発表大会の開催 青少年育成町民会議運営事業 成人式の開催 中学生海外派遣事業「ふれあいの翼」	A	生涯学習班
	2 家庭教育の充実	家庭教育講座の開催	A	
	3 学校教育と社会教育の連携・融合	子どもチャレンジ事業 スポーツ少年団活動	A	
	4 子どもの居場所づくり	放課後子ども教室推進事業	A	

生きがいを感じる生涯学習の推進	1 生涯学習推進体制の整備 充実	社会教育委員会の開催 各機関団体連絡協議会の開催 柳津婦人会運営補助事業	A	生涯 学習班
	2 多様なニーズに応える学習 機会の充実	高齢者学級「福寿学園」「養寿学園」の開催 成人学級「悠友倶楽部」の開催 伝統工芸教室の開催 料理教室の開催	A	
	3 生涯学習施設・設備の整備 充実	活性化施設「ふれあい館」管理運営事業 図書館整備事業 地区集会所施設の整備補助事業	A	
健康な生活を めざすスポー ツ・レクリエー ションの推進	1 生涯スポーツの意識啓発と スポーツ活動の充実	各種町民スポーツ大会等の開催 県総体県民スポーツ大会への参加 ふくしま駅伝競走大会への参加 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加 町体育協会運営補助事業 スポーツ推進委員会の開催と活動	A	生涯 学習班
	2 総合型地域スポーツクラブ の充実	赤ベクトータルスポーツの活動支援 赤ベクトータルスポーツの運営支援	A	
	3 スポーツ施設・設備の整備 充実	運動公園施設整備事業 B&G指導者育成事業	A	
地域の伝統行事と 伝統文化の継承と 文化財の保存	1 町民の文化活動の充実	文化協会、各種文化団体の活動 柳津町文化祭の開催	A	生涯 学習班
	2 地域の伝統行事と伝統文化の継承	地域伝統文化団体の育成と支援	A	
	3 やないづ町立斎藤清美術 館の充実	斎藤清展事業【※「トールマンコレクション展」開催】 県外斎藤清展推進事業 アート・コミュニケーション、ミュージアム・アメニティ事業 作品購入等事業	A	美術館 班
	4 文化財の保存と活用	町文化財保護審議会の開催 町指定文化財管理事業 天然記念物カモシカ処理事業 文化財火災防衛訓練の実施	A	生涯 学習班

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

Ⅲ 各重点施策の点検・評価

[生きる力を育む学校教育の充実]

基本事業		1 確かな学力の向上	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導 (2) 柳津町学力向上推進事業(町教研への委託) (3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B	全体としての達成度	
		B	
次年度への課題	町全体としては ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を積み重ねて、知識や技能の定着とともに思考力・判断力・表現力の向上をめざすよう指導助言する。 ・標準学力検査の目標値を全国平均に近づけることができるように、個に応じた補完指導を丁寧に行うよう参観等で確認する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		2 健やかな体の育成	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 学校保健体育、部活動の指導 (2) 食育計画の作成と指導 (3) 全国体力テストの実施 教育委員会において次の指導や活動・事業を実施した (1) 学校給食運営協議会の開催 ○ 年2回の開催(5月25日、3月27日) ○ 予算・決算、食育計画等の協議 ※ 三島町と共同で行う学校給食運営の開始		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B	全体としての達成度	
		B	
次年度への課題	町全体としては ・新体力テストの結果をふまえて、授業や日課表に位置付けた活動の充実のため、小学校体育アドバイザー等の活用を助言する。 ・学校栄養職員による食育を、授業や給食の時間に実施する。 ・保護者の理解のもと、中学校の部活動の限られた条件での充実等について指導助言する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		3 豊かな心の育成	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 道徳教育・特別活動における指導 (2) 体験的活動、ボランティア活動の重視 (3) 学校図書を整備と読書活動の推進 (4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応		
成果と評価	柳津小 A 西山小 A 柳学中 A	全体としての達成度	
		A	
次年度への課題	町全体としては ・教科化された道徳の授業及び評価のあり方に関する研修を、学校の計画に沿って支援する。 ・警察等関係機関へ講師の派遣依頼を行い、各学校のSNSに関する指導を充実させる。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		4 特別支援教育の充実	
取組の状況	特別支援学級の整備及び取組の状況等 【 柳津小における状況は 別紙 P14～ 】 【 西山小における状況は 別紙 P20～ 】 【 柳学中における状況は 別紙 P26～ 】		
成果と評価	全体としての達成度	B	
次年度への課題	町全体としては ・保育所等と連携して、個別の支援が必要な可能性がある子供の早期確認に努める。 ・設置した特別支援学級の小・中及び通常学級との連携のあり方等について指導助言する。また、必要に応じて、特別支援学校へつなぐ。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		5 小中学校間連携教育の推進	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 小中学校間連携教育の推進		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 A		全体としての達成度
			B
次年度への課題	町全体としては ・学校行事のみでなく、授業実践に関する小小、小中の連携を具体化するよう、学校教育アドバイザーを中心に指導助言に当たる。 ・保小連携のための職員・教員の交流の機会（相互訪問等）を積極的に設ける。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	町教育委員会において次の事業を実施した。 (1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業 (2) 外国青年（英語指導助手）招致事業 (3) 英語科の実施に向けた校内体制の充実		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B		全体としての達成度
			B
次年度への課題	町全体としては ・次年度からの小学校での外国語科の実施に向けて、町内で小・中相互の授業参観や研修の実施を支援する。 ・各学校でのICT機器の授業での活用の効果について確認して、今後の整備方針・内容等を策定する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町赤ベコプランを基にして、自校のプランを全職員での見直し、実践事項の共通理解 ○職員全員でのわかる・できることをめざす授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が分かるめあての設定とまとめの時間の確保 ・学習内容の確認と補充指導 ・T・T指導や単元の最後に復習の時間の確保 ・単元ごとの定着の確認と補充(単元テスト、定着確認シート、活用力育成シート) ○読書量を増やす <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の読書タイムの設定 ・読み聞かせボランティア、中学生読み聞かせによる読書意欲の高揚 ○学習の環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の約束」の掲示と活用、学期ごとの自己評価 ・「学習コーナー」の設置と学習履歴の掲示 ○家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」「家庭学習スタンダード」の活用と保護者との連携 ・メディアコントロール週間の設定や自主学習の習慣化 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業(町教研への委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自ら考え、表現できる子どもの育成」を目指した校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を取り入れた授業の改善 ○赤ベコプランの確実な実施 <p>(3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国・県学力調査の結果分析による課題の把握と個に応じた補充指導 ○全国標準学力検査の結果分析と補充指導、学力向上学年プラン(国・算)の設定 ○フォローアップシートの活用 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○「学力向上グランドデザイン」による学習指導を基にして、「分かった・できた」と自信を持って言える児童の育成をめざした。授業では、めあてやねらいを明確にするとともに、授業の終末に学習したことを振り返る時間を確保した。また、算数コーナーの設置などの環境整備に努めた。 ○校長、教頭、教務や支援員によるT・T指導や取出し指導により、つまづき克服のための個別指導に重点をおいて指導した。 ○家庭学習の手引きを配付し、家庭と連携し家庭学習の習慣化を図った。 ○「読書活動を取り入れた授業づくり」を推進し、児童の表現力の育成を目指してきた。 ○全国標準学力検査の結果を分析し本校の課題を明確にし、補充指導に生かすとともに、各学年の国算プランの設定に生かすことができた。 ○「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用を図り、授業の改善と自己マネジメント力の育成を図ってきた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○全国標準学力検査の結果を踏まえ、学年プランの改善を図るとともにT・Tによる指導や支援員の活用等により個に応じた指導を一層充実させ、発展的な方向に能力を引き伸ばせるようなきめ細やかな指導の工夫改善に努めたい。特にアンダーアチーバーの減少に力を入れていきたい。また、児童同士の学び合いや教え合いを大切にしたい。 ○定着確認シートやフォローアップシートなど効果的に活用し、基礎学力の確かな定着に努めたい。 ○家庭学習や自主学習の取り組み方について、今後も家庭との連携を密にしてよりよい方向に改善していきたい。 ○ふくしま学力調査へのきめ細やかな対応、春休み中の課題、実施後の結果分析、学校としての課題解決策の策定等を組織的に行っていく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	2 健やかな体の育成	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動への意欲や技能を高める指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「運動身体作りプログラム」を取り入れた授業実践 ・朝のマラソンや縄跳びの奨励 ○町小学校水泳記録会や陸上記録会へ向けての教科体育、課外練習の充実 ○外部人材の活用 ○う歯の治療率を高めるための保護者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きカレンダー、カラーテスターの実践 ・保護者への啓発 ○肥満傾向児童への個別支援と、外部機関との連携 ○町小・中学校合同による学校保健委員会の実施 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「朝食摂取率100%週間」運動の実施 ○「全国学校給食週間」での取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・「給食の歴史」の紹介、特別献立の実施など ○「自分で作るお弁当の日」(年2回)の実施 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの結果分析と体力向上推進計画を踏まえた指導の充実 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○「運動身体作りプログラム」を授業に取り入れ、実践してきた。 ○町小学校水泳・陸上記録会では、児童が自己のめあてを持って意欲的に練習に取り組み、成果を上げることができた。 ○体育アドバイザーの活用や特別非常勤講師による表現活動(ダンス)を実施できた。 ○栄養技師と連携しながら食育指導について継続的に取り組んできた。食べ方や偏食について指導し、少しずつ改善が見られるようになった。 ○「自分で作るお弁当の日」を実施した結果、家族と一緒に意欲を持って楽しんで作る児童が多くなってきた。 ○新体力テスト結果を分析し、指導に生かすことができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの結果をもとに本校の課題を分析し、体力向上推進計画を基にして重点的な指導に努めることができるよう教育課程の編成をする。 ○教科体育の充実を核とし、他の体育に関する指導との関連を図りながら、継続的に体力・運動能力の向上に努めたい。 ○栄養技師との連携を図った食育に関する授業実践を進めたい。 ○肥満傾向を持つ児童や、偏食が見られる児童については、学校における食育及び給食指導をはじめ、家庭との連携を図りながら継続的に指導していきたい。 ○日課表に業間マラソン(冬期間はなわとび)を位置づけ、体を動かす機会を増やし体力や運動能力を高めたい。また、本校の課題を改善するような体力向上推進計画を全職員で共通理解し実践したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育・特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間を充実し、道徳的実践力を高める。 ○道徳教育の指導内容を日常生活に生かす。 ○自主的・自律的な態度や互いに賞賛し合える態度を育てる。 ○自己理解を図るとともに、自己存在感や成就感を高める。 ○「特別の教科道徳」の開始に伴う校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程、別葉の作成、及び評価の研究 <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者福祉施設への訪問と交流活動の充実 ○米づくり体験活動（4・5年）※地主さん、JA、農青連の協力 ○森林環境学習（全学年）※町農林振興班の協力 ○合同宿泊学習（5年）、合同修学旅行（6年） ○各教科、総合的な学習、生活科における体験的活動（各学年） <ul style="list-style-type: none"> ・町の観光、歴史、町探検、見学、調査、美術館など多数 ・西山小との交流学習の充実 ○学校支援コーディネーターとの連携 <p>(3) 学校図書 of 整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通した朝の読書活動の推進（全学年） ○各学年月1回の読み聞かせの実施（町読み聞かせボランティアの活用） ○図書室の整備と図書館司書との連携による読書意欲の喚起 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談（児童年3回、保護者年1回）といじめアンケートの実施 ○高梨SC、養護教諭によるカウンセリング 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○各種行事や体験活動を通して、子どもたちに達成感や充実感を持たせることができた。 ○柳小秋まつりでは、日頃の学習の成果を発表したり、農園活動での感謝の心を伝えたりすることができた。 ○高齢者福祉施設でのボランティア活動やふれあい活動を通して、高齢者施設の様子や福祉の大切さ、ふれあいの大切さ等を実感することができた。 ○中学生の読書ボランティアによる読み聞かせを通して、児童の読書意欲を高めることができた。 ○いじめ問題の早期発見と早期対応について、共通理解を図りながら組織として取り組むことができた。 	<p>達成度</p> <p style="font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○町学校支援事業を活用し、コーディネーターと連携を図る。また、地域素材を活用して児童の体験を深めるとともに、人材活用の要請に努める。 ○図書館司書を中心に、より一層読書活動を推進するとともに、図書室の効果的な活用を図っていく。 ○メディアコントロール週間など家庭、地域との連携をより密に図りながら児童を取り巻く現代的な課題の解決をめざしていく。 ○児童の実態に応じて「学校いじめ防止基本方針」を改善しながら、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。 ○西山小との計画的な交流学習をさらに充実させる。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

【生きる力を育む学校教育の充実】

(学校名 柳津小学校)

基 本 事 業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 校内就学指導委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級の在籍児童、及び次年度特別支援学級入級希望者の情報提供 ○各児童の情報及び専門委員による観察結果をもとにした、就学に係る審議 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童（情緒障がい学級）… 4 学年男児 1 名 ・次年度入級希望児童（知的障がい学級）… 1 学年男児 1 名、2 学年男児 1 名 ○定期的に特別支援教育委員会を開催し、特別な支援を要する児童の支援状況について共通理解を図る。 <p>(2) 特別支援学級の整備と新設への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情緒障がいを持つ特別な支援を要する児童に対する指導支援 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級（みつば学級・あおば学級）担任を中心とした交流学級担任との連携 ○外部機関や保護者との連携・協議 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、町教育支援委員会、医療機関との連携 ・保護者との懇談と共通理解 ・実態に応じた教育課程の編成 <p>(3) 柳津保育所との連携した指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育参観を通して入学児童の理解 ○園児・保護者等の情報交換 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育支援員が通常学級における特別な支援を要する児童の指導支援に当たることにより、児童一人一人のニーズに応じたきめ細かな指導支援を行うことができた。 ○複数の通常学級に在籍する特別な支援を要する児童に対し、担任外教員や特別支援学級担任が適宜支援を行うことができた。 ○定期的に校内特別支援・就学指導委員会を開催し、特別な支援を要する児童の支援の状況について確認し、全職員が同一歩調で組織的に支援を行うことができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画や支援計画に基づき、計画的な指導・支援を行うとともに記録簿を作成し累積する。定期的なケース会議を開催し児童の状況を客観的に把握し、指導・支援の改善を図るようにする。 ○必要に応じてスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、町保健師、特別支援学校、会津教育事務所、医療機関など関係機関との連携を図り適切な就学指導に努める。 ○担任と支援員との打合せ時間を確保し連携を図って指導支援に当たっていく。 ○通常学級に在籍する特別な支援を要する児童へ対しての、取り出し指導の時間・方法等の充実を図り、組織的な取組ができるようにする。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

<p>基本事業</p>	<p>5 小中学校間連携教育の推進</p>	
<p>取組の状況</p>	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進 ○小中連携授業参観の実施 (現職教育研究授業を通して) ○小中連携協議会実施 (年1回) ○小中合同奉仕作業の実施 (年1回) ※校庭工事により中止 ○中学生による小学1・2年生への読み聞かせ教室 (年1回) ○中学生による小学3～6年生への学習ボランティア活動の実施 (算数科 年1回) ○小学6年生の中学校体験学習の実施 (年1回) ○合同避難訓練の実施 (年1回) ※町防災訓練として実施</p> <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進 ○修学旅行事前学習会 (2回) ○合同修学旅行 ○宿泊学習事前学習会 (2回) ○合同宿泊学習 ○交流学习会 (1～6年各2回) ○町水泳記録会、町陸上記録会</p>	
<p>成果と評価</p>	<p>○西山小学校、会津柳津学園中学校のそれぞれの授業を参観し合うことで、児童生徒の実態を把握したり、職員の指導力向上を図ったりすることができた。小学校・中学校の学習の円滑な移行を実現することができた。 ○各校の校長・教頭・教務主任・研修主任・生徒指導主事・養護教諭による小中9年間を通じた系統的・継続的な学習指導・生徒指導・健康指導についての協議を通して、共通理解を図り、課題解決に向けて同一歩調で取り組むことができた。 ○柳津中学校1、2年生による柳津小学校3～6年の学習支援活動は、児童・生徒とも良い刺激となり、自己の学習について振り返る良い機会となった。 ○保育参観や体験入学など、保育所との交流や連携を計画的に行うことができ、教育効果を上げることができた。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>○小中連携については、次年度もお互いに連絡を取り合って、校内授業研究会の授業参観、学習ボランティア、読み聞かせ、奉仕作業など今年度の取り組みに改善を加えより教育効果を高められるよう具体的な手立てを講じる。 ○西山小学校との交流については、統合中学校への進学に向けてスムーズな学校生活を実施するために今後とも充実させていく。また、保育所との交流と連携を可能な範囲で継続し小1プロブレムの解消に努めていく。 ○5、6年生が参加する町水泳記録会、町陸上記録会については、坂下地区と実施、西部3町村と実施等、今後のことを考えていく必要を感じる。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業 ○PCに親しませること、情報モラルの高揚に努めた。 ○電子黒板とデジタル教科書の導入により学習の効率化を図った。また、きめ細やかな指導の充実に努めることができた。 ○iPadの活用に向けた校内研修の実施を図り、授業での活用を積極的に行った。 ○次年度の活用へ向けた環境整備と計画の立案を関係機関と連携を図り行ってきた。</p> <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業 ○英語指導助手を導入した外国語授業の充実 ○外国の文化、生活に触れる体験活動の実施</p> <p>(3) 英語科の実施へ向けた校内体制の充実 ○先進校の視察 ○研究公開への参加と指導力の向上 ○計画的・段階的な教育課程の編成 ○町教育研究会公開で授業を提供し、職員の指導力の向上を図った。</p>	
成果と評価	<p>○PC、iPadを調べ学習に活用することで、情報収集能力を高めるとともに利用のきまりを指導することができた。 ○電子黒板やデジタル教科書を利用することにより、学習意欲を高めるとともに効率的・効果的な学習指導を進めることができた。 ○英語指導助手を活用したことにより、発音やイントネーションなどを生の音声英語に触れながら学ぶことができた。 ○英語指導助手との触れ合いは、母国での生活の様子など、外国の文化を理解する良い機会となった。 ○デジタル教材により、映像で外国の様子を知ることができた。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<p>○PCやiPad、電子黒板を有効に活用するための教員研修を実施し、ICT機器を授業の中でより効果的・積極的に活用できるようにする。 ○毎時間の外国語活動の指導内容や方法について英語指導助手と担任で連絡を密に取りあって、児童への指導の効果が上がるようにしていきたい。 ○英語科完全実施へ向けた計画的な準備と、職員の指導力の向上を図る。 ○プログラミング教育の全体計画を基に、教科・単元等を選定し、組織的な取り組みができるように推進していく必要がある。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全職員の共通理解のもと、日常的に「ふくしまの『授業スタンダード』」や「赤べこプラン」に示されている「めあての提示」や「話し合い活動の充実」等に努め、基礎基本的な学力の定着を図られるようにしてきた。 ○家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図るとともに、読書活動（朝の読書、うちどく、うちどくりレー等）の推進を図ってきた。 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業研究の際には他校にも実施案内をし、授業や研究内容に指導助言を受けた。会津教育事務所指導主事や町学校教育アドバイザーより指導助言を受け、授業改善に努めてきた。 ○町教研予算により研究先進校に教員を派遣し、先進的な指導方法の研修を進め、可能な限り、教職員間で共有することに努めた。 <p>(3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査、NRT学力検査実施前には、既習事項の確認を行うとともに、実施後には自己採点をし、事後指導をなるべく早く行うよう努めた。また、達成状況を全職員で共有し、指導に生かすようにした。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度より力を入れてきた読書活動の日常化について、様々な手立てをとおして推進することにより定着しつつある。 ○研究先進校での指導方法を取り入れた授業を行う教員の姿が見られた。また、職員室での話題とし、情報の共有を図ることができた。 ○全国学力調査（国語103%、算数102%以上）は、おおよそ目標数値を達成している。これまでの指導方法を継続するとともに、児童の実態に応じた指導をとおして、さらに学力向上を図っていきたい。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の定着、家読りレーの取り組み等には家庭の協力が必要であるが、十分に協力が得られていない。家庭への啓蒙を図っていきたい。 ○NRT学力検査では、目標数値を若干下回った。授業改善を図りつつ、学力向上に努めていきたい。 ○ICT研究先進校への派遣を行ったが、道徳科や外国語活動の研究先進校へも教員を派遣し、新学習指導要領への対応を進めていきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		2 健やかな体の育成	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○始業前の陸上指導(週3回)、杉っ子タイム(業間体育)、町陸上記録会前の特別陸上等、日常的に体力向上を図ってきた。 ○全学級において運動身体づくりプログラムを実施し、基礎体力の向上を図ってきた。 ○小学校体育専門アドバイザーに3度来校していただき、児童への技能指導及び教員の授業改善についての指導を受けることができた。 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校給食指導計画のもと、学校食堂にて全校給食を実施してきた。意図的に縦割り班を編成することにより、楽しい給食の時間になるよう努めるとともに、偏食傾向のある児童には時間をかけて丁寧に指導してきた。 ○町栄養士をゲストティーチャーに招聘して、学級活動の時間に食育指導を実施した。 <p>(5) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常的な体育指導に加え、体力テスト実施前にはやり方の指導をし、体力・能力を発揮できるようにした。 		
	成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テストでは全国水準を上回る結果となっている。始業前、業間等の授業以外の取り組みも成果の一因となっていると考える。 ○町水泳記録会、町陸上記録会でも多くの児童が入賞した。全国陸上競技交流大会では、2年連続で県大会に出場する児童もおり、児童の自信につながった。 ○食育指導を継続してきた結果、偏食傾向のある児童も少しずつ苦手なものを食べられるようになり、また、時間がかかっていた児童も早く食べられるようになってきた。 	達成度
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○体育指導の研修を深め、より「楽しい体育」の授業が展開できるようにしていく。 ○体力・運動能力の陥没点、特に走力の底上げを図り、体力・運動能力のさらなる向上を目指していく。 ○生活習慣が定着していない児童、家庭が見られるため、家庭との連携を密にしながら食育と保健指導のより一層の充実を図っていく。 		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現職教育での研究授業等で道徳の授業の研究を深めるとともに、思いやりの心が育つよう日々指導してきた。 ○学級活動、クラブ活動、児童会活動、学校行事等をとおして、自主性や実践的な態度を育てられるよう、発達段階に合わせた指導を行った。 <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健幸クラブとの交流会を年2回実施し、お年寄りとの交流を図った。 ○各学級で校舎内や学校周辺の清掃、保育所での読み聞かせを行うなど、ボランティア活動を推進した。また、会津柳津学園中学校と合同でパイパスでのロードフラワー活動を行った。 <p>(3) 学校図書 of 整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通じて図書の管理、購入を計画的に行い、読書環境の充実を図ってきた。 ○朝の読書活動、うちどく、うちどくりレーを継続的に行ってきた。 ○県立図書館より「あづま号」に来校してもらい、新たな本との出会い、本を読む喜びを味わうことができた。 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童との教育相談を年2回実施するとともに、家庭訪問、個別懇談をとおして保護者と情報交換を行った。 ○毎月、生徒指導協議会を開催し、児童の生活の様子について、情報の共有を図った。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育、ボランティア活動の充実を図ってきたことにより、思いやりの心が育ってきている。その結果、いじめと認知される案件は見られなかった。 ○読書活動における様々な取り組みを継続的に行ってきた結果、以前より本に触れる機会が増え、読書冊数が増加した児童が多く見られた。 ○図書館司書が教員と連携し、2学期中には必要な図書を取り揃えたため、児童の読書に対する関心・意欲が高まった。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「特別の教科 道徳」の充実を図る必要がある。それぞれの教員が研修を深めるとともに研究先進校への派遣を行い、それぞれが研修したことを共有していきたい。 ○児童の主体性を大切にしながら体験的活動、ボランティア活動の充実を図り、ねらいに即してより効果的に実施していきたい。 ○うちどく、うちどくりレーの充実のために家庭の協力を得られるようにするとともに、児童が意欲的に読書に取り組むことができるよう、発達段階に応じた指導を行っていく。 ○読書に対する関心や意欲が継続するよう、引き続き計画的な図書の購入に努めていく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内就学指導委員会を年2回実施し、特別支援の視点から児童の学校生活を見つめ、共有した情報を指導に生かしてきた。 ○本校の特別支援教育担当が町教育支援委員会に出席し、そこで学んできたことや情報を本校教職員間で共有し、指導に生かしてきた。 <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校特別支援学級(情緒)は設置4年目となり、これまでの実績から計画的な指導を行うことができるようになってきた。また、実態に合わせた自立活動の時間の確保に努めるとともに、T、T指導の日常的に実施し、児童に必要な支援を行ってきた。 ○個別の支援計画の見直しを年度当初に行い、児童の実態に応じた指導に努めてきた。また、特別支援学級担当が日常的に保護者と連絡を取り合い、児童主体の指導や支援を行ってきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○校内就学指導委員会において特別支援の視点からの情報を教職員間で共有した結果、児童一人ひとりに合わせてきめ細かな指導の実践につながった。 ○町教育支援委員会での情報を教職員間で共有することにより特別支援への理解が深まり、実際の指導に生かすことができた。 ○次年度の教育課程編成においては、該当児童の成長に伴い自立活動の時間を削減するなど、実態を考慮した教育課程編成に取り組むことができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との連絡を密にし、個別の支援計画の見直しを図りながら、特別支援教育の充実に努める。 ○特別支援教育についての研修を継続し、先進校への研修派遣を実施するとともに、町教育支援委員会で得た情報を共有し、さらに効果的な特別支援教育を進めていきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	5 小中連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣接する西山中学校が柳津中学校と統合し会津柳津学園中学校となったことにより、新たな小中連携の形を模索してきた。 ○中学校と連携し、中学2年生と滝谷川での稚魚放流を、中学1年生とバイパスでのロードフラワー活動を実施し、児童生徒の交流を図ってきた。 ○町教研での情報交換や現職教育の授業参観を行うことにより、児童生徒についての実態把握や情報交換を行ってきた。 <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年の交流学习を柳津小と西山小の年間計画に位置づけて実施した。また、青少年の主張大会当日には、本校児童全員が柳津小に出向き、全学年で交流学习を実施した。 ○修学旅行、宿泊学習や町水泳記録会、陸上記録会等の行事を合同で行ってきた。 	
成果と評価	<p>○様々な行事等をとおして、小・小連携、小・中連携を深めることができた。</p> <p>また、行事を実施することによって児童生徒同士の関係が深まり、中学校への進学における効果があったと考えられる。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px;">B</p>
次年度への課題	<p>○保護者からの願いもあり、小中連携をさらに進めていく必要がある。計画的に行事等を実施するとともに連携の状況を省察的にとらえ、中学校と協力しながら次年度以降の教育課程に生かしていく必要がある。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業</p> <p>○町教育委員会のご協力により、iPadの台数確保やアプリの整備が進み、児童が必要なきに使うことができる状況が整ってきた。</p> <p>○プログラミング学習の完全実施に向けてアプリを活用した授業を行ってきた。また、学習支援システムを必要に応じて活用してきた。</p> <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <p>○年間計画に沿って、外国語活動のアシスタントとして活用してきた。</p> <p>○磐梯町立磐梯第二小学校の研修視察をとおして、ALTとの連携のしかた、役割分担のあり方について研修を深めることができた。</p>	
成果と評価	<p>○iPadの台数が整備され一人1台使用でき、児童が主体的に活用しようとする態度が育ってきている。また、プログラミング教育に使用するアプリなどが整備されたことにより、児童は意欲的に学習に取り組むことができています。</p> <p>○授業者が学習場面に合わせてiPadや学習支援システムを活用することによって、協働的な学習の実践や学習の効率化につながった。</p> <p>○英語指導助手をアシスタントとして活用することにより、授業者の意図に沿った授業を展開することができた。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<p>○ICT機器やアプリの活用方法をさらに研究し、より効果的に使用できるようにしていく必要がある。</p> <p>○外国語の完全実施に向けて、教職員の研修や英語指導助手との話し合いを深めていく必要がある。また、中学校進学を考え、柳津小との指導方針のすり合わせも行っていきたい。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上																									
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の学びを、相手にわかりやすく表現することができる生徒の育成 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「自分の学びを、相手にわかりやすく表現することができる生徒の育成」を大テーマとし、次の観点で実践に取り組んだ。 ① 題を解決させるために協働的な学びの場を設定する 生徒個人の考えを基に、課題解決のためにペアやグループ、全体での学び合いの場を設定し、意見を出し合い、意見や考えを練り直したり、新たな考えに気付かせたりする。そのために、学び合いの目的や方法、最後の着地点を明確にした話し合い活動に取り組んだ。 ② 教師のコーディネート 教師が生徒のつぶやきや発言を全体に共有させたり、問い返しをしたりすることや、あえて間違えた意見を教師が生徒に問い直すことで、生徒の考えを深めさせる活動に取り組んだ。 ③ 言語活動の充実 生徒自身の考えを、他の生徒にわかりやすく伝えるために、文章にまとめたり、作図や絵などで表し、説明したりする活動を重視して、自分の思考過程を可視化したり、まとめたりする活動に取り組んだ。 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○先進授業研修会による研修 ○小中一貫事業の展開 ○町教育研究会指定授業公開、全体研修会（柳津小） <p>(3) 全国標準学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国標準学力検査の結果分析と補充指導 ・全国標準学力検査(平均正答率) <table border="1" data-bbox="555 981 1209 1176"> <thead> <tr> <th></th> <th>本校</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>73.0</td> <td>76.0</td> <td>76.1</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>59.0</td> <td>61.0</td> <td>61.2</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>59.0</td> <td>64.0</td> <td>66.1</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>41.0</td> <td>44.0</td> <td>46.9</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>65.0</td> <td>66.0</td> <td>66.1</td> </tr> </tbody> </table>			本校	県	全国	国語A	73.0	76.0	76.1	国語B	59.0	61.0	61.2	数学A	59.0	64.0	66.1	数学B	41.0	44.0	46.9	理科	65.0	66.0	66.1
	本校	県	全国																							
国語A	73.0	76.0	76.1																							
国語B	59.0	61.0	61.2																							
数学A	59.0	64.0	66.1																							
数学B	41.0	44.0	46.9																							
理科	65.0	66.0	66.1																							
成果と課題	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <p>手立て1 「生徒が自発的に解決したいと思う課題の提示」により「めあて」をしっかりと理解して授業に取り組んでいる生徒が増加した。また、生徒に深く考えさせる課題を設定することにより、思考力の高まりが見られた。</p> <p>手立て2 「生徒が自発的に解決したいと思う課題の提示」と「課題解決のための協働的に学ぶ「学び合い」」により、生徒自身の考えをまとめようとする生徒が増加した。また、課題に対して教師が授業の中でペアやグループなどの活動を設定したことにより、ペアやグループなどで協力して学習することに意欲的に取り組める生徒が増加した。</p> <p>手立て3 「目標を振り返る評価の工夫」により、授業の流れが分かる板書や本時で学んだことをノートや板書で振り返らせる指導に取り組んだことで、本時の学習内容について「分かった」と実感できる生徒が増加した。</p> <p>(2) 柳津町学力向上推進事業の取り組み</p> <p>先進的な授業を、全教員が参観することにより、実践の方向性を確認できた。</p> <p>(3) 全国標準学力検査・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国標準学力検査(中3) ・結果分析を行い、各教科で補充指導を実施することができた。読解力や表現力、活用力に課題があり、授業改善に取り組んでいる。また、家庭学習の習慣化が求められる状況にあり、部活動やスポーツ少年団との関わりを工夫していきたい。 	<p>達成度</p> <p>B</p>																								
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「生きる力」を育成するための授業作りをさらに深化させていきたい。特に生徒の思考力・判断力・表現力を育成するために、毎時間の授業で生徒の言語活動を充実させたい。 ○授業と家庭学習の連携を図りたい。そのためにも家庭学習の仕方や内容について、教師が適切な指導を行いたい。 																									

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	2 健やかな体の育成																																					
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育・部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業や部活動に積極的に参加させ、運動に対する意欲や技能を向上させる。 ○常に健康や安全に関心を持ち、自己管理させる。 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栄養士との連携を図った食育に関する授業の実践 ○「お弁当づくり」の実践を通しての食理解の推進 ○「朝食について見直そう週間」運動の推進 ○ふくしまっ子健康・体力「自分手帳」を活用しての食育・健康指導 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度本校の体力・運動能力の状況及び平成29年度の目標値 <table border="1" data-bbox="303 840 1284 1086"> <thead> <tr> <th></th> <th>男子</th> <th>目標値</th> <th>県</th> <th>全国</th> <th>女子</th> <th>目標値</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>34.36</td> <td>(36.00)</td> <td>32.41</td> <td>35.51</td> <td>48.13</td> <td>(50.00)</td> <td>43.02</td> <td>46.24</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>36.60</td> <td>(40.00)</td> <td>40.83</td> <td>44.48</td> <td>49.08</td> <td>(50.00)</td> <td>48.32</td> <td>52.04</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>37.43</td> <td>(45.00)</td> <td>46.61</td> <td>51.05</td> <td>48.21</td> <td>(50.00)</td> <td>49.30</td> <td>54.30</td> </tr> </tbody> </table>			男子	目標値	県	全国	女子	目標値	県	全国	1年生	34.36	(36.00)	32.41	35.51	48.13	(50.00)	43.02	46.24	2年生	36.60	(40.00)	40.83	44.48	49.08	(50.00)	48.32	52.04	3年生	37.43	(45.00)	46.61	51.05	48.21	(50.00)	49.30	54.30
		男子	目標値	県	全国	女子	目標値	県	全国																													
1年生	34.36	(36.00)	32.41	35.51	48.13	(50.00)	43.02	46.24																														
2年生	36.60	(40.00)	40.83	44.48	49.08	(50.00)	48.32	52.04																														
3年生	37.43	(45.00)	46.61	51.05	48.21	(50.00)	49.30	54.30																														
成果と課題	<p>(1) 学校保健体育・部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通じて部活動を実施している。生徒の負担過重にならないように、配慮しながらの指導を行うことができた。常設部と特設部の練習が相乗効果をあげている。 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分手帳」の活用により、自分の生活の振り返りと生徒や保護者へ必要な情報を提供することができた。また、朝食等のアンケートにより、生徒の実態を把握し、適切な指導を行うことができた。 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生女子はすべての面で全国平均を超えている。2年生が男女とも、柔軟性と敏捷性に欠けており、体が硬く動きが鈍い傾向にある。 		<p>達成度</p> <p style="font-size: 2em;">B</p>																																			
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の意欲や関心を十分に考慮した部活動運営を行いたい。 ○2年生については、柔軟性や敏捷性の向上のための運動を授業で継続的に指導したい。 																																					

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進 ○生徒の身近な題材を使った授業作り <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行や校外学習の実施 ○自然ふれあい学習（尾瀬自然学習）の実施 <p>(3) 学校図書整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝の読書の実施（年間を通して） ○図書だよりの発行 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会を中心とした全校的な対応 ○スクールカウンセラーとの連携 	
成果と課題	<p>○道徳教育・特別活動における指導</p> <p>道徳の授業では、各学級では毎週道徳的価値について迫る授業が行われた。教師もともに考えながら授業を進めることができた。</p> <p>○体験的活動・ボランティア活動の重視</p> <p>いろいろな体験活動を通して、多くのことを学ぶことができた。開校初年度で手探りのものが多かったが、ロードフラワー運動や木工芸品製作・販売で、地域の方との作業や関わりの機会を設けることができ、ボランティア精神や地域の一員としての自覚を持たせることができた。</p> <p>○学校図書整備と読書活動の推進</p> <p>司書の努力で「図書館だより」を通して、年間を通じて読書活動の啓蒙をすることができた。</p> <p>○いじめ、問題行動等の早期発見・早期対応</p> <p>4月の保護者会で、本校のいじめ対応基本計画を示し、明確に方針を打出して保護者にも理解と協力を求めた。ふざけ合いがいじめに発展することがないように生徒観察と職員の情報交換を綿密に行い、対処した。楽しく学校生活を送ることができたと思われる。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の授業を中心に様々な体験活動を通して、心の教育を推進したい。 ○体験活動については、生徒に多くの困難を実感させられるような活動を多く取り組ませたい。 ○図書館司書を活用し、より一層読書活動を推進したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <p>①情緒障害学級1（在籍1）、知的障害学級1（在籍2）を整備した。</p> <p>②指導方針</p> <p>i 在級生徒の能力・適正を把握し、心身の発達や障がいの程度に即応する指導を行い学校生活の全領域で身辺自立の習慣や対人関係の調和を身につけ、将来望ましい社会人としての生活が営まれるよう配慮する。</p> <p>ii 日常生活や将来の職業生活に行かされるよう配慮する。</p> <p>iii 指導の方法や内容の配列を工夫し、生徒の実態・進歩の状況に応じ、弾力的な運営を進める。</p> <p>iv 在級生徒の実態に応じ、基礎的なICT活用能力、英語能力、生活に必要な基礎学力の向上をはかると共に、家庭や地域社会とのネットワークと連携を密にし、社会を生き抜く資質、及び地域に学び、地域に育つ教育の充実が図られるよう配慮する。</p>	
成果と課題	<p>○交流教育が特別支援学級の理解を促し、通常学級の生徒と特別支援学級の生徒相互に意義があることを認め全職員の共通理解のもと指導できた。</p> <p>○各行事や生徒会活動、部活動など、いろいろな機会を捉え通常学級生徒の特別支援学級生徒に対する理解を促した。</p> <p>○学級担任と担当者との連携を密にし、必要に応じて協議検討しながら、交流教育の円滑化を図った。</p> <p>○特別支援教育の考え方を通常の指導にも活かすことができた。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○特別支援学級在籍生徒の指導については、教師の思い込みでハードルを下げるのではなく、ハードルの高さを維持したまま、指導の工夫でその能力を高めていく考え方が大切である。指導方法の一層の工夫に努めると共に、得られた知見を学校教育活動全体に生かしていきたい。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	5 小中連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現職教育を中心とする研究授業をお互いに参観することにより、指導法について意見交換することができ、授業の質的改善に努めることができた。 ○中学1、2年生が小学1年生に絵本の読み聞かせを行った。読み聞かせの難しさや思いやりの心、ボランティアの大切さなどを学んだ。 ○合同のロードフラワー運動を行い、地域と一体となった活動を展開した。 ○中学生が小学校に出向き、学習ボランティアや読み聞かせを行った。 	
成果と課題	<p>○小・中学校連携教育の推進</p> <p>小学校と密接な連携をとり、相互授業参観や共通実践事項を定めて、一貫した指導ができるように努めた。</p> <p>小学校に出向き、学習ボランティアや絵本の読み聞かせを行った。「自分たちの活動が役に立っている」という意識が、自尊意識の高揚につながっている。</p> <p>1年間を通して、小学校の先生方と協議をしたり、行事等をともにできたことは、子どもたちの9年間の成長のために、各年代でどのようなことをすべきか考える良い機会となっている。「連携」にとどまらず、「一貫」に近い取組を行い、9年間を見通した指導を工夫したい。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○授業時数の確保のために、小中連携の行事の内容や実施時期、回数などについて、吟味や検討を行いたい。 ○9年間の子どもたちの成長を考えた系統性のある小中連携を模索したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業</p> <p>①活用状況</p> <p>○各学年でタブレットパソコン（インターネット）を2人で1台の環境で活用できる環境を整えた。</p> <p>○60インチの大型モニターを設置し、必要に応じてすぐに使えよう常時電源をオンにしている。</p> <p>○国語、数学、英語、社会では、電子黒板を積極的に利用し効果を上げている。</p> <p>○美術の時間にデザイン画（着物デザイン、立体図デザイン）等にパソコンを用いて描き色づけを行うなど授業で効果的に活用している。</p> <p>②教育効果及び今後の課題</p> <p>○インターネットにより調べたいことを主体性をもって調べることができる。学習の個別化・個性化が実現できている。</p> <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <p>○ALTが子どもたちの指導に大変熱心で成果を上げている。特に、発音の指導にはこだわりがあり、日本人教師にはできない指導が行われている。</p>	
成果と課題	<p>○生徒一人1台ずつノートパソコンを使用することができ、インターネットを使って効果的に調べ学習ができている。</p> <p>○一人1台タブレットPCが使用できる環境設定が整備され、指導の幅が広がった。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<p>○電子黒板、タブレット、パソコン等を活用して、どのような授業が行えるのか研修する機会を設けることが必要である。</p> <p>○機器の導入だけではなく、機器を有効に活用するための、支援できる人材なり、企業なりとの連携が必要である。</p> <p>○ネットワーク環境については、今後も十分な速度を維持できるようにしたい。タブレットパソコンは、全校生がひとり1台同時に使用しても活用できるような環境があつて初めて日常的な活用が図られるし、一層の効果も期待できる。</p> <p>○町内3校が連携して活用促進できるよう、機器環境の統一化を図りたい。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実]

基本事業	7 教育環境・条件の整備充実	
取 組 状 況	<p>(1) 学校施設等改修整備事業 ○柳津小学校・会津柳津学園中学校校庭改修工事 ○柳津小体育館照明器具改修工事 ○各小中学校トイレ改修工事 ○会津柳津学園中図書室家具設置等工事</p> <p>(2) 教材教具整備事業 ○小中学校共通教材等更新整備 ○小中学校共通図書室図書購入 ○ICT機器ipad購入整備 (西山小学校) ○ICT機器ipad購入整備 (会津柳津学園中学校) ○ICT授業プログラミング学習ロボットPETS整備 (西山小学校)</p> <p>(3) 就学援助事業 ○準要保護児童就学援助 5名 (小学校4名・中学校1名) ○特別支援児童就学援助 7名 (小学校4名・中学校3名)</p> <p>(4) 児童生徒通学費補助事業 ○遠距離通学児童生徒に対するバス定期券購入費助成</p> <p>(5) 高校生奨学金貸与事業 ○貸付実績なし</p> <p>(6) 教職員福利厚生事業 ○教職員成人病検診、人間ドックの実施</p> <p>(7) 教員住宅管理事業 ○教職員への住宅貸付、住宅管理 (教員住宅8戸)</p> <p>(8) スクールバス運行事業 ○スクールバス運行委託 柳津5路線、西山3路線</p> <p>(9) 特別支援教員等の配置 ○柳津小学校特別支援員1名配置 ○西山小学校に常勤講師2名配置 ○会津柳津学園中学校特別支援員1名配置</p> <p>(10) 学校図書司書の配置 ○学校図書司書2名配置</p> <p>(11) 学校用務員の配置 ○学校用務員各校1名 (計3名)</p> <p>(12) 給食費補助事業 ○給食費半額の補助</p>	
成果と評価	<p>○学校施設等施設等改修整備事業は、概ね計画どおり進捗し、整備竣工した。 ○教材教具整備事業では、計画どおり整備竣工した。 ○図書司書の配置により読書活動の推進が図られている。 ○用務員の配置により、主に学校施設環境等の維持が図られている。 ○給食費半額補助により、子育て支援の充実が図られ、保護者の負担軽減につながっている。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<p>○今後、プログラミング授業が導入されることもあることから、引き続きICT整備については整備していく必要がある。 ○柳津小学校体育館、西山小学校体育館の屋根俊塗装工事を実施していく。(平成31年度実施) ○各校共、老朽化等による小規模な施設改修を行っていく中、現代の学校環境のニーズにより各校の共通の施設改修としてトイレの洋式化を実施する。 ○その他、継続的事業については、平成31年度も引き続き実施していく。</p>	

達成度. A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

②・[郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

	基本事業	1 郷土を愛する心の育成
取組の状況		<p>(1) 児童生徒の地域行事への参加促進 ・小中学生が参加できる町行事について、町校長会を通して周知し、参加奨励を実施。</p> <p>(2) 青少年の主張発表大会の開催 ・大会開催：発表者7名・町内小中学児童、生徒（小学3年生以上）の参加 ・文集「わたしの主張」を作成し全戸配付。 ・町青少年育成町民会議健全育成部会において計画立案</p> <p>(3) 青少年育成町民会議運営事業 ・4部会(健全育成・非行防止・環境浄化・広報)で構成 ・各部会において年間活動計画の立案</p> <p>(4) 成人式の開催 ・対象：町内出身者男性16名、女性19名、合計35名（うち30名出席） ・会場：ふれあい館8月15日(水) ・内容：式典、講演会 「ふるさと会津から、夢を叶えて」 講師：(株)ラジオ福島アナウンサー 手塚伸一</p> <p>(5) 中学生海外派遣事業「ふれあいの翼」 ・シンガポール・マレーシアへ研修（7/30～8/3）中学2,3年生対象 ・参加人数 2年生 28人中10名、3年生 32人中20名 随員4名（学園中教員）旅行会社JTB</p>
成果と評価		<p>○小中学校3校の児童生徒7名による主張発表が行われ、日常生活や家庭など身近なものを取り上げた主張や、学校生活や友達について主張した生徒もあり、広聴者にとっても興味深い発表会となった。全校生（小3以上）が参加し発表を聞き、より充実した発表会となった。</p> <p>○青少年育成町民会議の各部会の活動にはそれぞれの部員が積極的に参加し、柳津町の青少年健全育成に努めている。</p> <p>○お盆の成人式は対象者の参加率も高く、記念講演では夢を持つことの大切さと、夢を叶えるための努力や工夫という内容の講演であった。</p> <p>○海外派遣事業は、今回からホームステイを実施しない行程で、代わりに企業訪問や学校訪問を実施して現地で交流を図った。</p>
次年度への課題		<p>○町行事等に小中学生が参加しやすい環境を作り、郷土を愛し誇りが持てるための学習機会の定着に向け情報提供や参加への働きかけを継続する。</p> <p>○青少年育成機関である町民会議を最大に活かすことができる方策を考慮しながら事業を実施していく。</p> <p>○柳津町の出身者であることを再確認し、故郷愛を育むことのできる成人式としたい。</p> <p>○海外派遣は、家庭の負担、子ども達への公平性の観点から修学旅行の一環で取り組む方向で進めてきたが、全員の同意を得ることは難しい状況である。また、参加率が50%と低いため今後に向けて事業を再考する必要がある。</p>

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業		2 家庭教育の充実	
取組の状況	(1) 家庭教育講座の開催 ○就学時子育て講座の開催 ・開催日：平成30年9月20日(柳津小) 平成30年9月12日(西山小) ・講師：福島県家庭教育インストラクター 矢吹貴美 氏 ・対象者：就学児童の保護者 ・参加人数：柳津小22名、西山小6名		
	成果と評価	○就学時検診に併せて、就学児童を持つ保護者の子育てについて、講師を招き講演会を開催した。 保護者同士の交流の場、情報交換の場にもなっている。	
達成度	A		
次年度への課題	○就学児童の保護者のみを対象とした内容であるため、さらに広い範囲に家庭教育の充実を呼びかけられる事業に発展させたい。		

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	3 学校教育と社会教育の連携・融合	
取組の状況	<p>(1) 子どもチャレンジ事業</p> <p>○ジュニアサマーキャンプの実施（場所・いわき海浜自然の家）</p> <p>・7/31、8/1に1泊2日の日程で小学校5年生、6年生を対象に募集をかけたところ、29名の参加があり、いわき海浜自然の家に宿泊しながら、海辺での体験活動を中心に実施した。</p> <p>(2) スポーツ少年団活動</p> <p>○6種目・団員122名・指導者36名</p> <p>○対象：町内小学校1年生～中学生まで</p> <p>○活動日及び時間は各活動種目により決定</p> <p>○活動場所は運動公園グラウンド、海洋センター体育館、柳津・西山小中体育館 B&G艇庫、町営テニスコート、その他</p>	
成果と評価	<p>○ジュニアサマーキャンプは、県のサポート事業の一環として、海辺に親しみ魚に親しみ丈夫な体づくりを目的に実施した。海から遠い当町の子ども達にとって貴重な経験となった。</p> <p>○ジュニアサマーキャンプは何より子ども達の参加を得ることが第一であることから、より参加したくなる内容のキャンプとなるよう工夫していく必要がある。</p> <p>○スポ少は年々子どもの数が減少していく中で現状維持が困難な状況となっている。特に昨年中学校の野球部が廃部となったことから、小学校のソフトボールクラブの運営にも支障が出ることが予想される。</p> <p>○柳津町スポーツ少年団活動は熱心な指導者や学校との連携により、毎年素晴らしい成績をあげている。青少年の健全育成とスポーツ振興の町にふさわしい活躍が見られているため、継続していけるように引き続き支援するべき。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>○従来、小学5,6年生の夏休みにはジュニアサマーキャンプに参加する習慣があったが、近年は価値観が変わってきたと思われる。継続のためには子どもの意向を聞いたり、学校や家庭の協力を得ることが必要となってきた。</p> <p>○体験学習では、日ごろ経験できないものを取り入れ有意義な学習の機会としたい。</p> <p>○小中学生の減少により団員の確保が難しい種目もある。又、低学年（1、2年生）からの活動も懸念される。勝利だけを目指すのではなく礼儀やマナーの指導にも重点を置き、保護者の理解と協力を得ながら学校と連携し青少年の健全育成に努めていきたい。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	4. 子どもの居場所づくりと環境整備	
取組の状況	<p>(1) 放課後こども教室推進事業</p> <p>○柳津小学校区「ジャンプやないづ」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2回(月、水)年70回 ・登録人数29名、スタッフ7名 <p>○西山小学校区「杉の子サークル」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回(木)年33回 ・登録人数22名、スタッフ3名 <p>○美術館と連携した美術教室や、福島こども芸術計画(アートで広げる子ども未来プロジェクト)の事業とコラボした特別教室を開催し、多彩な内容で実施できた。また、今年から「おやつ」を廃止し、体験時間を広げたため、より充実した学習内容になったと思われる。</p>	
成果と評価	<p>○放課後子ども教室は少子化により、家に帰っても遊ぶ友達がいない・・・そんな子ども達が放課後子ども教室で、子ども同士のつながりだけでなく地域の方々とふれあい、学校や家庭とは違う時間を過ごす中で、子ども達は豊かな心を育成し、地域の方が子ども達を見守る気持ちから、安全面においても大きな役割を果たしている。また、子どもにとって地域の人の関わりが持てる場所として貴重である。</p>	<p>達成度</p> <p style="font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<p>○共稼ぎ家庭が増える中で、さまざまな事情を持つ家庭に対応していく必要が生じてきている。また、通年において活動指導員や安全指導員の確保が課題となっている。放課後子ども教室が地域と一体となった子育てを実践する教室であることを、町民にアピールし引き続き協力者を得ていくことが必要である。また、教室中での児童の学習態度に個人差があり、真剣に取り組む子と悪ふざけをして周囲を騒がせる子があり、教室運営の難しさが出てきている。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	1 生涯学習推進体制の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 社会教育委員会の開催 ○委員7名年2回の開催（6月・3月） ・年間事業の状況検討、計画等、生涯学習に関する全ての協議機関 ・スポーツ振興審議会も兼務する。</p> <p>(2) 各機関団体連絡協議会の開催 ○町内機関団体34団体年2回の開催（6月・1月） ・年間行事調整、イベント等の説明 ・生涯学習カレンダー及び門松（紙）の印刷、全戸配布</p> <p>(3) 柳津婦人会運営補助事業 ・年間活動事業への支援と助言 ・地区婦人会活活動への支援</p>	
成果と評価	<p>○社会教育委員会において生涯学習全般を審議しているが、生涯学習は範囲も広く大変重要な分野であるため、今後も学識経験とそれぞれの専門分野から適切な指導をお願いしていきたい。</p> <p>○各機関の団体長が一同に集まる連絡協議会において各機関の情報共有を図り生涯学習カレンダーを制作している。</p> <p>○婦人会活動は自主活動が定着し、各種イベントへの参加や協力が多く見られているが、若年層の入会者が少なく年々会員数は減少している。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>○社会教育委員会は重要な審議機関であるため、十分な審議がなされるよう生涯学習に係る説明を明確にし、各委員の意見を確認しながら事業を進めていく。</p> <p>○各機関団体連絡協議会は、唯一の団体間の連絡機関として、互い情報共有できる貴重な場であるが、年に1回の開催でも事業の目的は十分達成できるものとする。開催数を見直したい。</p> <p>○柳津婦人会は年々会員が減少しているが、事業は減っていない現状にある。今後は、各地区の事情を考慮しながら、婦人会としての在り方を検討する必要がある。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	2 多様なニーズに応える学習機会の充実	
取組の状況	<p>(1) 高齢者学級「福寿学園」「養寿学園」の開催 ○月1回の開催・受講生福寿22名、養寿39名。 ・講演会、奉仕活動、現地研修会、楽器の演奏鑑賞、工芸、映画鑑賞等。</p> <p>(2) 成人学級「悠友倶楽部」の開催 ○月1回の開催・受講生52名 ・趣味と実益の学習を通じ、仲間作りとともに生活に彩りを持つことが目標</p> <p>(3) 伝統工芸教室の開催 ○しめ縄・ほうきづくり教室 2日間 受講生15名 講師4名 ○またたび細工教室 4日間・受講生14名</p> <p>(4) 料理教室の開催 ○管理栄養士を講師に月1回、第一水曜日に開催。受講生13名</p> <p>(5) その他の教室 ○インスタ映えする写真教室 1日間 受講生13名 ○クラフトテープバッグ作り 2日間 受講生22名 ○笑いヨガ教室 6回 受講生延111名 ○味噌作り教室 1回 受講生39名 ○キムチづくり教室 1回 受講生29名 ○魚のさばき方教室 1回 受講生11名 ○韓国料理教室 1回 受講生 11名</p> <p>(5) 講演会の開催 ○医学で解き明かす笑いの講演会 150名 ○小泉武夫 健康のための講演会 130名 ○公民館お笑い劇場落語会 100名</p>	
成果と評価	<p>○通年行っている教室では、高齢者学級の会員数が減少を続けてはいるものの、悠友倶楽部の趣味と実益を兼ねた内容の教室は、大幅な会員増となっている。</p> <p>○その他、今年度から取組んでいる各種講座や、講演会については2桁台の順調な参加数を得ており、ニーズに合った運営がなされたものと思われる。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○高齢者学級は高齢化が進む中、身体の原因などから年々参加者の減少が目立つ。参加者減少に歯止めをかけるため既存の学級生のニーズを検証し、より魅力ある学習内容を取り入れて新規参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>○年間通して学習する教室の場合は、毎月必ず参加することに負担を感じる部分も見られるため、個人のペースに合わせて自由な感覚で学習できる体制が好まれる時代ではないだろうか。</p> <p>○学習を通して長い人生の年代に応じた生きがい作りを取組む必要がある。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	3 生涯学習施設・設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 活性化施設「ふれあい館」管理運営事業 ○地域住民の活動の拠点として、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。 ・平日は午前8時30分～午後9時まで開館 ・土、日、祝日は午前8時30分～午後5時まで開館（夜間は予約制）各種学級、講座、文化団体、学校・PTA、体育関係、役場の会議、趣味のサークル、トータルスポーツ、一般会議・研修等への貸出。</p> <p>(2) 図書館整備事業 ○町広報誌による新刊図書の紹介や図書室のスペースを利用して、わかりやすい図書の紹介をして、関心を集めている。 ・購入予算年約308千円購入冊数199冊 登録書籍数 12,272冊 年間貸出冊数 1,650冊</p> <p>(3) 地区集会所施設の整備補助事業 ○町内9地区集会所の改修、修繕等の助成事業を実施し、地域コミュニティの拠点づくりと環境整備等に支援。 ・総事業費13,631,027円×80%（補助率上限300万）=10,781,000円</p>	
成果と評価	<p>○各種教室やクラブ活動、サークル活動に有効に活用していただけるよう利用促進を図っている。放課後の児童生徒の利用に際しては公共の場でのマナーを指導しつつ放課後児童の場として提供している。</p> <p>○図書システムの導入によりスムーズな運営が出来ているまた、読み聞かせボランティアによる小学校への読みきかせや、中学校との連携により魅力的な図書館づくりを目指し、利用促進を図っている。</p> <p>○各地区集会所の整備はコミュニティづくりに大きな役割を果たしている。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度課題	<p>○ふれあい館は大変きれいで使いやすいとの声が多く、利用者及び団体が増加している。今後も維持管理に努めていきたい。</p> <p>○ふれあい館は公共の場であり、学校や家庭とは違うことを小中学生に良く認識させたい。（利用マナー・挨拶・飲食等の指導）</p> <p>○児童図書や最新版の図書も定期的に購入し整備している。内容説明（ポップ）も分かりやすく表記されており借り易くなっている。</p> <p>○集会所の新築を希望する地区より改修や修繕を希望する地区が多くなってきており、それぞれの地区の事情を考慮しながら補助事業の有効活用を進めたい。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	1 生涯スポーツの意識啓発とスポーツ活動の充実	
取組の状況	<p>(1) 各種町民スポーツ大会等の開催</p> <p>○社会体育事業（スポーツ大会等）の反省も常に行い、大きなトラブルもなく町が主催する事業について実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯谷山（175名）・博士山（230名）開きの開催 ・霊まつり少年ソフトボール大会（18チーム） ・町民ソフトボール大会（16チーム） ・町民運動会柳津（1,240名） 西山地区（1,076名） ・やないづタウンマラソンリレー大会（10部門・33名） ・町民バレーボール大会（17チーム） ・西山地区ソフトバレーボール大会（4チーム16名） ・さいかつボール教室 30名 <p>(2) 県総体県民スポーツ大会への参加</p> <p>○県民スポーツ両沼大会には、5競技参加し、3チームが入賞</p> <p>○会津大会は3競技参加し、2チームが入賞</p> <p>(3) ふくしま駅伝競走大会への参加</p> <p>○第29回市町村対抗福島県縦断駅伝大会に出場し健闘を見せた（全長95.1km）</p> <p>総合成績 全53チーム中43位、町の部成績 全29チーム中21位</p> <p>5時間59分18秒</p> <p>(4) 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加</p> <p>○町野球連盟を中心に柳津町チームが出場し2回戦敗退</p> <p>○ソフトボールは初勝利をあげ、2回戦敗退</p> <p>(5) 町体育協会運営事業</p> <p>○12の加盟団体で構成し、スポーツを通じて町民の体力向上のため、各種競技団体で工夫実施している。</p> <p>(6) スポーツ推進委員会の開催と活動</p> <p>○月1回の定例会の開催と生涯スポーツの指導から立案と反省、両沼並びに県の研修会への参加、各種スポーツ教室の指導。 委員数12名</p> <p>(7) スポーツ講演会の開催</p> <p>○全日本バレーボール代表の大林素子氏による講演会とスポ少、中学生を対象にバレー教室を開催した。</p>	
成果と評価	<p>○第70回を迎えた県民スポーツ大会は町民のスポーツの振興と健康の増進に貢献するとともに、近隣町村との交流のためにも有効な大会となっている。</p> <p>○ふくしま駅伝は若い選手層ながら中高校生の活躍もあり、競技力が向上している。更に指導者や家族、地域の方々のご支援により青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>○野球経験者が中心となり、仕事との両立を図りながら町代表として誇りを持ち練習や大会に臨んでおり年々成果を上げている。また、スポーツ全般にこの取り組みが青少年の模範となるよう益々活躍して頂きたい。</p> <p>○体育協会及びスポーツ推進員の活動により、町スポーツの振興と健康づくりに大きく貢献している。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>

○町内におけるスポーツイベントを開催するにあたっては、西山地区民の参加が少ない状況から、地区対抗にこだわらず多様な競技を検討し広い世代が参加しやすい内容にした。スポーツと健康の関わり等競技思考から体験型スポーツ教室等の開催も検討し、総合型地域スポーツクラブや町民課との連携を図りながら健康づくりを支援していきたい。

○県民スポーツ大会は競技人口の減少と競技者の高年齢化が目立ち、参加が難しい種目も出ている為、各クラブの育成や会員の確保が今後の課題である。

○長距離競技は小学生の早い段階から正しい指導と親しみを持って接する事が大事であり、中・高校生選手の育成が必要となっている。

○市町村対抗軟式野球大会、市町村対抗ソフトボール大会への参加について、競技経験者の確保や練習時間の工夫により、チームワーク力をあげて好成績に結びつくよう、支援していきたい。

○地域性や競技種目を考慮した人材の確保と共に生涯スポーツの企画、立案者としての自覚と責任を持ち町民の健康維持に携わる必要がある。

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業		2 総合型地域スポーツクラブの充実																							
取組の状況	<p>(1) 赤ベコトータルスポーツの活動支援</p> <p>○定期活動による教室9教室、時期ごとの教室7教室(スポ少除く)、委託教室3教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局を海洋センター体育館事務室に置き、クラブマネージャーが事務を行っている。 ・運動公園体育施設及び学校施設、ふれあい館などで年間を通して活動している。 ・町の委託事業として「楽関スクール」を実施した。 <p>(2) 赤ベコトータルスポーツの運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブが独自に指導者の養成を行い指導にあたる。 ・各種専門指導員を講師に招き指導にあたる。 ・町体育協会会員等の協力により指導にあたる。 ・一般経験者による指導。 ・町運営補助金 (1,000,000円・令和2年度まで) <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>会員数</td> <td>正会員</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用会員(大人)</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用会員(小人)</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファミリー会員</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シニア会員</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ハーフ会員</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>57名</td> </tr> </table>			会員数	正会員	16名		利用会員(大人)	9名		利用会員(小人)	18名		ファミリー会員	6名		シニア会員	4名		ハーフ会員	4名		計	57名	
	会員数	正会員	16名																						
	利用会員(大人)	9名																							
	利用会員(小人)	18名																							
	ファミリー会員	6名																							
	シニア会員	4名																							
	ハーフ会員	4名																							
	計	57名																							
成果と評価	<p>○種目により活動にばらつきがある様だが、固定した会員で継続して活動している種目がある。外部での大会や教室等に積極的に参加している。</p> <p>○住民の体力増進や青少年の健全育成など貢献度は大きい。</p> <p>○町事業の受託団体として、多岐にわたる活動範囲を広げつつある。</p> <p>○会員数は昨年と同数であり、新規の会員確保ができていない。</p>		達成度																						
			A																						
次年度への課題	<p>○年々会員数が減少している状況にあり、運営に支障をきたすことが懸念される。会員の拡大へ向け事業の推進を目指していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の確保 ・指導者の養成 ・活動種目及びイベント種目の企画立案 ・町と連携した組織運営 ・財政的に自立した組織運営 																								

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	3 スポーツ施設・設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 運動公園施設整備事業</p> <p>○体育館は昭和54年に建設され、今年度で39年目を迎えたが、3年前に玄関及びトイレの洋式化、シャワールームの改修等を行い、より清潔なスポーツ施設として活用されている。今年度は体育館の屋根塗装を行った。平成30年度利用者数 9,663人(町民7,973人、町外1,690人)</p> <p>○武道館は昭和55年に建設され、3年前に屋根の修繕を実施した。平成30年度利用者数 1,383人(町民890人、町外493人)</p> <p>○プールは昭和56年に建設され、今年度は玄関部分屋根の塗装、またシャワー室の天井、壁塗装を実施した。</p> <p>平成30年度利用者数 2,644人(町民2,174人、町外470人)</p> <p>○艇庫は体育館と同じ年度に建設、艇庫前のグレーチングが破損し車の往来時に跳ね上がる場合があったため昨年補修した。</p> <p>○テニスコートは町外の団体や、長期合宿で利用することが多く、常に予約でいっぱい状況である。今年度は管理棟の屋根塗装を実施した。の状況である。今年度は管理棟の屋根塗装を実施した。平成30年度利用者数 4,113人(町民2,675人、町外1,438人)</p> <p>○グラウンドは昭和57年に整備された後、平成25年度は野球内野部の整備、昭和61年にナイター照明の設置、平成27年度にソフトボール側の照明設備の改修(LED化)平成28年度にソフトボール側の土入替を行い、さらに使いやすいグラウンドとなった。</p> <p>平成30年度利用者数 8,044人(町民4,738人、3,306人)</p> <p>○運動公園施設の年間利用者合計 26,087人(町民18,690人、町外7,393人)</p> <p>(2) B&G指導者育成事業</p> <p>○平成30年度 職員中途退職のため受講者無し</p>	
	成果と評価	<p>○B&G関係施設は各種大会や教室、スポ少、部活動、スポーツ合宿等利用が多く、地域住民の健康と青少年の健全育成の場として高く評価できる。また、震災後は町内宿泊施設利用者に対する施設無料措置を継続し、夏場にスポーツ合宿招致をはじめ、町内への誘客促進に寄与している。</p> <p>○町営施設はB&G施設同様に近隣市町村の利用も多く、優れた選手の育成や指導者の養成など施設の役割は大きい。</p>
次年度への課題	<p>○今後も改修を行いながら、利便性と安全性を考慮した施設管理、運営を行っていく。</p> <p>○B&G財団インストラクター養成研修に参加し、より安全な施設として有効活用する。</p> <p>○公共スポーツ施設使用時のマナーを指導し、青少年教育を推進する。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業		1 町民の文化活動の充実	
取組の状況	<p>(1) 文化協会、各種文化団体の活動</p> <p>○加盟14団体による、年次計画によりそれぞれが実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい芸能発表会(会場/ふれあい館)で実施(11月25日) ・現地研修会(会津戊辰150企画 7月5日) ・現地研修会(やないづの歴史を巡る研修会・11月7日) ・会津西部巡回美術展(柳津会場・12月1日、2日) ・会津演劇鑑賞会 三遊亭兼好落語鑑賞会(若松市文化センター・2月1日) ・冬まつり参加協力 <p>(2) 柳津町文化祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 : 11月3日 ・文化作品の展示 ・各団体、小中学生、放課後子ども教室の作品展示 ・町内小中学生の作品展示 ・柳津史談会講演会、お茶会の開催 		
成果と評価	<p>○文化協会活動には協会加盟団体が積極的に参加し、柳津町の文化活動を盛り上げた。各団体が技術の向上のため、頻繁に活動している様子が伺える。</p> <p>○文化祭には多くの来場者が訪れ、日頃の活動の成果を広く知っていただく事ができた。</p> <p>○放課後子ども教室での作品展示・販売を行い有意義な体験教室となった。</p>		<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○各クラブとも会員の高齢化により、年々各種事業への参加者が減少している。今後は、文化活動を絶やさないようにするため若い人の新規加入を斡旋していく必要がある。</p> <p>○文化祭については、一般公募作品の出展が少ないため、今後は広く広報活動を行い、より多くの町民が気軽に出展できるよう、参加型イベントにしていく必要がある。</p>		

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

⑤ [地域の伝統行事と伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業		2 地域の伝統行事と伝統文化の継承	
取組の状況	<p>(1) 地域伝統文化団体の育成と支援</p> <p>○冬まつりにおいては提灯行列や、鳥追いを実演し伝統文化の継承に努めた。</p> <p>○各種学級で、芸能を披露していただきながら継承に寄与した。</p>		
成果と評価	<p>○町内外から多数の人が観覧する中で、見る人は伝統文化を身近に感じ、やる人は伝統芸能を継承することの意義が再確認できたものとする。</p>	達成度	A
次年度への課題	<p>○伝統芸能を実演する機会を増やし、観覧者への周知とともに芸能者のやりがいと誇りを鼓舞していくことが大事。</p>		

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

<p>基本事業</p>	<p>3 やないづ町立斎藤清美術館の充実</p>	
<p>取組の状況</p>	<p>(1) 斎藤清展事業 ○企画展の実施(年4回・3ヶ月毎に展示替え) ○特別企画展「ザ・トールマン コレクション」展 (30年9月15日～11月25日、72日間で7,653名来場)</p> <p>(2) 県外斎藤清展推進事業 ○鹿沼市立川上澄夫美術館(栃木県、10～11月)での「斎藤清と川上澄夫」展の開催 ○渋谷ヒカリエにおいて「ザ・トールマン コレクション 第2部」展(12月)を開催、多様な世代を中心に顧客開拓を促進 ○オリジナルグッズの館外販売(東京都美術館ほか)</p> <p>(3) アート・コミュニケーション、ミュージアム・アメニティ事業 ○作家の美術館滞在による作品制作・公開:川合南菜子氏 (制作 30年7月～9月・公開 10月～)、 ○地域住民が気軽に参加できるトークイベント(10月14、21日) ○ミュージアムパーティー(10月6日) ○ミュージアムカフェ(春・秋を中心とした土日祝日)。 ○筑波大学及び武蔵野美術大学との連携イベント</p> <p>(4) 作品購入等事業 ○郡山市在住のコレクターより未収蔵作品を中心に3点の斎藤作品の寄贈受け入れ ○作品及び関連資料(蔵書票)を6点購入</p>	
<p>成果と評価</p>	<p>(1) 入館者数 17,165 人 (H29 年度 24,150 人、増減率 28.9%減) 「ムンク×斎藤清」展を開催した前年度ほどの集客は得られなかったが、29 年度を除くここ数年では最多の入館者数となっており、運営改善の成果が表われていると思われる。</p> <p>(2) 収入額 30,122 千円 (H29 年度 35,291 千円、増減率 14.6%減) 入館者数の減少にともない、入館料及びグッズ販売収入が共に減少した。</p> <p>(3) 効果的なプロモーションでは、前年度に引き続き、国内外の美術館との連携と拡大、外部キュレーターとの交流を通じた館内展示の底上げが必要である。</p> <p>(4) 来館者アンケートでは、館内でのカフェやコンサート、企画展の内容や展示方法、関連ワークショップについて高評価を得ている。</p> <p>(5) 中長期的な集客に向けたブランディングの再構築や美術館の多様な価値発揮、大学や地域教育と連携した館運営の推進が不可欠である。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>

<p>次年度への課題</p>	<p>(1) ブランディング再構築と強化継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ○斎藤清ブランドの再構築と発信に向けた調査・研究 ○連動的・重層的広告の実施 (HP、facebook、SNS、YouTube のコンテンツ拡充) ○県外での展覧会の実施に向けた交渉 (都内、海外) <p>(2) 学芸技術の底上げと展示の抜本的改善、斎藤清アーカイブの継続的实施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品の収蔵・研究・展示という美術館の基本サイクルの徹底。 ○国内外美術館や外部キュレーターとの交流・連携の強化。
----------------	---

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	4 文化財の保存と活用	
取組の状況	<p>(1) 柳津町文化財保護審議会を開催 ○文化財保護審議会の開催 (年2回)</p> <p>(2) 町指定文化財管理事業 ○町指定文化財 {14件 (県指定2件含む) 管理委託} ○国重文1件・国指定天然記念物1件・県指定4件(町指定2件含む) 計 18件 ○国重要文化財奥之院弁天堂の屋根雪降ろしのための補助</p> <p>(3) 天然記念物カモシカ処理事業 ○天然記念物であるカモシカの滅失処理。1件 (1地区)</p> <p>(4) 文化財火災防御訓練の実施 ○奥之院弁天堂、圓藏寺周辺での防御訓練 (1月26日) ○参加機関：広域消防柳津出張所、町消防団、奥之院、奥之院総代、圓藏寺、圓藏寺総代、圓藏寺自衛消防隊、文化財保護審議委員、町教育委員会</p>	
成果と評価	<p>○町文化財保護審議会は、例年2回の会議を開催し国指定天然記念物うぐいの生息状況や、久保田三十三観音、軽井沢銀山煙突保存等について協議した。</p> <p>○町指定文化財の多くは個人所有又は地区が管理しているため、保管状況は概ね良好と思われる。</p> <p>○天然記念物であるカモシカが死亡していた場合は埋葬し、滅失届を文化庁へ報告している。</p> <p>○文化財火災防御訓練により、伝統的建造物の保存や継承、更に防火体制の確立と意識の高揚が図られている。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○縄文館に展示している石生前遺跡出土品の有効活用</p> <p>○今後も、個人所有文化財並びに地区管理文化財の保存状態等の確認調査の実施。</p> <p>○軽井沢銀山跡煙突の保存に向けては、今後文化財保護審議会等を中心に協議するとともに、関係団体や町民の意見を考慮しながら保存、取り壊しに向けて決定したい。</p> <p>○文化財防御訓練は、今後も関係機関との連携を図り、文化財保護活動に努めていく。</p>	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

IV 点検・評価に関する有識者の意見

IV 点検・評価に関する有識者の意見

1 点検・評価に関する有識者名簿

学識経験者の知見の活用については、以下の方を「点検・評価に関する有識者」に選任し、有識者の意見を頂きました。

佐藤 長八	柳津町文化協会長
二瓶 伸博	柳津町体育協会長
長谷川 富雄	柳津町人権擁護委員代表
岩佐 節子	柳津町主任児童委員
小林 幸子	柳津町主任児童委員
伊藤 和也	柳津小学校PTA会長
伊藤 光一郎	西山小学校PTA会長
金子 透	会津柳津学園中学校PTA会長

2 点検・評価に関する有識者の意見

◇教育委員会の活動状況について

- ・「通学路の安全点検」について、基本事業にあることが望ましいと考えます。次年度に向け検討いただきたく要望いたします。
- ※児童生徒が事件や事故に遭わないよう、危険箇所の点検を実施するとともに、有害獣が潜む森林や茂みを学校や通学路周辺から無くしていくべきと考えます。
- ・「人」を育てるという最も重要な役割を担って努力している思いが感じられます。
- ・毎月の定例会において、各学校との連携がなされ、丁寧に学校運営や教育に携っていただき感謝いたします。
- ・学校教育、社会教育とも幅が広く、奥行きが深い分野であり、これで良いという限界もないと思っています。関係者の皆様に敬意を表します。今後とも活動をよろしく願います。

◇教育委員会重点施策の点検・評価について

- ・柳津小学校、西山小学校、会津柳津学園中学校、及び教育委員会において、適正な点検・評価であると判断します。
- ・複雑化が更に進んでいる現在、多岐にわたる様々な指導等、感謝致します。どの項目におきましてもB以上の評価であり、それぞれの立場でのご努力に感謝申し上げます。
- ・小中連携教育の推進について、小小連携を行っていますが、もっと合同授業等を行い、交流を深めていく必要があるものと考えます。交流を深めることで中学校に行ってからからの集団活動の影響が軽減されるのではないのでしょうか。
- ・スポーツ少年団の活動においては子どもの数が減少傾向にあります。人数を増やす方法があるものと考えます。教育委員会の中だけではなく、他部署とも連携して少しでもスポーツ少年団参加者を増やして欲しいと考えます。
(案) スポ少時のバスルート
西山⇒ふれあい館を、
西山⇒B&G 海洋センター⇒ふれあい館
上記のような方法等、支所地区の子どもが参加しやすい方法や、本庁地区でも参加しやすい方法があると思います。
- ・冬場の行事の中に「雪と遊ぶ」、「雪に学ぶ」ものを取り入れたらと思っています。学校のスキー教室の復活、冬の日常の児童・生徒の活動の場（スキー場等）の復活をお願いします。
文化的には軽井沢銀山煙突の改修の実現をお願いします。
豊かな人間形成の為の取り組みに文化財を活用した取り組みをして頂きたいと思えます。

《資 料》

令和元年度 柳津町教育委員会の点検・評価の概要

柳津町教育委員会は、要綱に基づき、平成30年度の教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について、次のとおり点検・評価を行います。

(1) 点検・評価の対象（項目）

「柳津町教育委員会の活動状況」及び「柳津町教育委員会の重点施策」

① 柳津町教育委員会の活動状況

柳津町教育委員会の開催及び審議状況、教育委員の主な活動、教育委員会の情報発信等

② 柳津町教育委員会の重点施策

平成29年度柳津町教育委員会重点施策について、「取組の状況」「成果と評価」「次年度への課題」の視点から、それぞれ点検・評価を実施する。

※「達成度」については、重点施策ごとに、A（十分に達成）、B（ほぼ達成）、C（やや不十分）、D（不十分）の4段階で評定

(2) 学識経験者の知見の活用

柳津町小中学校保護者を含む教育関係者等、教育に関し知見を有する方から、柳津町教育委員会の内部評価について、個々人から意見をいただく。

※平成28年度の点検評価学識経験者

・町文化協会長・体育協会長・人権擁護委員代表・主任児童委員代表・町内各小中学校PTA会長

(3) 点検・評価の経緯

柳津町教育委員会では、次の手順で点検・評価を実施する

① 各学校での内部評価（3月）

○重点施策「生きる力を育む学校教育の充実」を中心に

② 教育委員会の内部評価（4月～5月）

○教育委員会の活動状況のまとめと評価（学校教育班）

○事務事業の取組（進捗）状況のまとめと評価（各班）

○事務事業の評価に基づく重点施策の評価（学校教育班）

③ 学識経験者からの意見聴取（5月～6月）

④ 点検・評価についての審議及び決議（6月教育委員会）

⑤ 点検・評価報告書を柳津町議会へ提出（7月議会全員協議会）

⑥ 柳津町広報誌、柳津町ホームページ等で町民への公表（7月～）

柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の点検・評価実施要綱

柳津町教育委員会

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和36年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、柳津町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況及び教育委員会が定める重点施策とする。

(点検及び評価の期間)

第3条 点検・評価は、当該年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第4条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。以下同じ。）は、第2条に規定する事項について必要な書類を整理する。

(点検及び評価)

第5条 点検及び評価は、前条に規定する資料に基づき、学識経験者の意見を聴取した上で教育委員会において行う。

(点検・評価に関する有識者)

第6条 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を置く。

2 点検・評価に関する有識者は、小中学校保護者及び教育関係者等、教育に関し知見を有するものの中から教育委員会が選任する。

(議会への報告等)

第7条 教育委員会は、当該年度の点検及び評価を行った後、その結果をまとめた報告書作成し、これを柳津町議会へ提出するとともに公表する。

(庶務)

第8条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育課学校教育班において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年2月27日から施行する。

メ

モ

